

■柱3 街をとりまく みどりの保全・活用とネットワークづくり

※環状グリーンベルト構想

札幌の自然条件を生かしながら、市街地を緑の帯で包み込もうとする構想。

※生物多様性

自然の生態系を構成する動物、植物、微生物などが豊かな生物種の多様性とその遺伝子の多様性など、様々な多様性を持つ生態系概念。

※低炭素社会

都市整備事業の推進、民間活動の規制・誘導などの手法を組み合わせ、集約型都市構造の実現、都市緑化等の推進、下水道における資源・エネルギーの有効利用等の促進、エネルギーの面的な利用の促進などを総合的に行うことにより、低炭素型都市構造を目指した都市づくり。二酸化炭素の排出が少ない社会のこと。

札幌市が進める環状グリーンベルト構想に位置づけられている山岳丘陵地の森林と平地に広がる草地や農地などは、札幌固有の景観や良好な都市環境の形成に欠くことができない大切なみどりです。

この推進プログラム「街をとりまくみどりの保全・活用とネットワークづくり」では、市街地近郊のみどりを保全・活用しネットワーク化することにより、みどりの将来像のひとつである「地球環境を守り、私たちと自然が共生するみどり」を実現するための施策を展開していきます。

その取組みとして、環状グリーンベルト構想を引き続き推進するとともに、市民などによる身近なみどりの保全と活用、地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全と創出を推進していきます。



■柱3 街をとりまく みどりの保全・活用とネットワークづくり

●推進プログラム

●施策の方向性

⑦みどりの保全や創出による環状グリーンベルトづくりを進めます

- ⑦-1 環状グリーンベルト構想の推進
- ⑦-2 自然環境の保全と良好な都市環境の創出
- ⑦-3 森林の持続的な育成管理の推進

⑧身近な森の活用を進めます

- ⑧-1 市民活動のための機能や支援の充実
- ⑧-2 森林と親しむ場や機会の充実
- ⑧-3 みどり資源の有効利用の推進

⑨地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全と創出を進めます

- ⑨-1 地球環境や生物多様性の保全に向けた意識の醸成
- ⑨-2 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進
- ⑨-3 生物多様性に配慮したみどりの保全と創出

推進プログラム ⑦ みどりの保全や創出による 環状グリーンベルトづくりを進めます

札幌の市街地をとりまく森林・草地・農地などについて、周囲の街との連携や広域的な位置づけを踏まえながら、それぞれの特性に応じて保全するとともに、新たな森づくりなどのみどりの創出に努めます。

また、それらの公益的な機能の効果的な発揮に向け、市民・活動団体・企業などとの連携による持続的な育成や管理に取り組むことにより、札幌固有の景観や良好な都市環境を形成する環状グリーンベルトづくりを進めます。

※緑の保全と創出に関する条例

市、市民、事業者及び土地の所有者等が相互に手を携えながら本市のみどりを豊かなものにし、現在及び将来の市民が健康で文化的な生活を営む上で必要とする良好な都市環境を確保することを目的として制定された条例。

※緑保全創出地域制度

札幌市緑の保全と創出に関する条例に基づき、市内全域を山岳地域、甲山地域、里地域、居住系市街地、業務系市街地に分け、開発を行うときに定められた緑化を行ってもらうことで、みどり豊かな都市環境を保全及び創出する制度。

⑦-1 環状グリーンベルト構想の推進

【制度の運用】

○環状グリーンベルトの形成を推進するため、拠点となる公園緑地をつなぐ森林、草地、農地などについて、関連する各種制度や札幌市緑の保全と創出に関する条例に基づく緑保全創出地域制度などによるみどりの保全に努めます。

【新たな森づくりの推進】

○環状グリーンベルトの拠点となる公園緑地の造成に合わせて、市民、活動団体、企業などとの協働による植樹・育樹、森の活用・保全の機会や場を提供し、新たな森づくりを推進します。

【市民・活動団体・企業との協働】

○市民・活動団体・企業との協働による森づくりや自然環境の保全を進め、環状グリーンベルトの形成を推進します。

⑦-2 自然環境の保全と良好な都市環境の創出

【自然環境の保全・創出のための制度の充実】

○自然環境の保全とより良好な都市環境を創出するために、市内の自然環境やみどりの現況を踏まえるとともに、広域的な視点にも配慮しながら、各種制度の充実を進めていきます。

【山地系のみどりの保全と創出】

○山地系のみどり(山岳丘陵地の森林)においては、森林の特性に応じて各種制度の活用や市民・活動団体・企業などとの協働による持続的な育成や管理を進めます。

【平地系のみどりの保全と創出】

○平地系のみどり(農地・草地や河川など)においては、農地の持続的な利用や草地・河川などにおける自然環境の保全などについて、各種制度の活用や部局間の連携によって取組みます。



茨戸川の水とみどり[北区]

※インセンティブ

人の意欲を引き出すために、外部から与える刺激、動機づけ、誘因。

⑦-3 森林の持続的な育成管理の推進

【制度の活用による適切な森林の育成管理】

○森林の持つ多様な公益的機能を保全・発揮・回復するために、各種制度の活用などによる適切な森林の育成管理を進めます。

【市民などとの協働による森林の育成管理の推進】

○市民・活動団体・企業などとの協働による持続的な森林の育成管理を進めるため、市民意識の醸成やボランティア活動への支援、企業の取組み促進に向けたインセンティブの創出を進めるなど、より多くの市民・活動団体・企業が森林の育成管理に参画できるしくみづくりを進めます。



森をフィールドにした市民活動

<計画進行管理の指標>

- * 植樹祭などの参加者数(開催数)
- * 市民参加で植樹した本数
- * 森林の育成活動数
- * 森林の保全活動に参加した市民の割合
- * 森を守ったり活用することに参加して、今後も続けたいと思っている市民の割合
- * 法律や条例などで守られているみどりの面積(再掲)

推進プログラム ⑧ 身近な森の活用を進めます

市民による保全や活用に関する活動のより一層の推進のため、都市環境林、市民の森などで、活動の場としての機能の充実や活動に対する支援の充実を図ります。

また、みどり資源の利活用などに対するより多くの市民の理解を得るための取組みを推進し、その場づくりや機会の提供を進めます。

⑧-1 市民活動のための機能や支援の充実

【森をフィールドとした市民活動に必要な機能の充実】

○都市環境林や市民の森などが、市民活動のフィールドとしてより一層活用されるよう、森の手入れ、自然観察、環境教育といった多様な活動にかかわる情報提供や交流などの機能を、市民ニーズを踏まえて充実します。



市民との協働による管理

【森の保全・活用のための人材育成と活用、効果的な支援】

○身近な森の保全と活用を推進するため、森にかかわる知識や技術を持った人材の育成や活用を進めるとともに、市民・活動団体・企業などによる森の保全・活用の取組みに対して効果的な支援を行っていきます。

③-2 森林と親しむ場や機会の充実

【身近な森林と親しむ場づくり】

○森林とのかかわりが少ない市民に対して、森林の持つ役割の大切さや自ら守り育てることの重要性に対する理解や意識の向上、森林を守り育てる行動を起こす契機づくりのために、活動団体や企業、関係機関と連携しながら、白旗山都市環境林などの拠点となる場の充実や効果的な管理運営を進め、身近な森林と親しむ場づくりを進めます。

【身近な森林と親しむ機会の充実】

○より多くの市民が気軽に森林に親しみ楽しむことができるよう、札幌の森林に関する積極的な情報発信を進めながら、多様な市民ニーズを踏まえた魅力あるイベントの実施やプログラムづくりなど森林に親しむ機会の充実を図ります。

【奥山のみどりの保全】

○市域の半分を占める南西部の国有林は、水源林など、私たち市民に多様な公益的機能をもたらす大切な森林であることから、その保全を関係機関と連携して進めます。



南西部に広がる奥山のみどり

※バイオマス

再生可能な生物由来の有機性資源で、石油などの化石燃料を除いたもの。太陽のエネルギーを使って生物が合成したものであり、生命と太陽がある限り、枯渇しない資源。

③-3 みどり資源の有効利用の推進

○循環型社会の実現に向けた市民意識の向上や普及啓発を進めるとともに、公園や都市環境林などで発生する間伐材、剪定枝、落葉、刈草などをバイオマス燃料などとして有効利用するなど、みどり資源の持続的な循環利用のしくみづくりを進めます。



剪定枝チップの公園花壇への活用

< 計画進行管理の指標 >

- * 森林の育成活動数(再掲)
- * 森林の保全活動に参加した市民の割合(再掲)
- * 森を守ったり活用することに参加して、今後も続けたいと思っている市民の割合(再掲)
- * 白旗山都市環境林利用者数
- * みどりに関する催事や活動等を行った回数(再掲)
- * みどりづくりなどに参加した市民の割合(再掲)
- * みどりに関する催事や活動等に参加し、今後も参加したいと思っている市民の割合(再掲)

推進プログラム ⑨ 地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全と創出を進めます

※生物多様性

自然の生態系を構成する動物、植物、微生物などが豊かな生物種の多様性とその遺伝子の多様性など、様々な多様性を持つ生態系概念。

※低炭素社会

都市整備事業の推進、民間活動の規制・誘導などの手法を組み合わせ、集約型都市構造の実現、都市緑化等の推進、下水道における資源・エネルギーの有効利用等の促進、エネルギーの面的な利用の促進などを総合的に行うことにより、低炭素型都市構造を目指した都市づくり。二酸化炭素の排出が少ない社会のこと。

※森林ボランティア

指定された都市環境林等において、市民による積極的な森林保全活動を行なう札幌市の事業。

※環境保全アドバイザー

市民の観察会や学習会などで、環境保全に関する講演等を行う専門家。

※カーボンオフセット

二酸化炭素の吸収源になる樹木の植栽やクリーンなエネルギーを取り入れるなどにより、排出した二酸化炭素を相殺する仕組み。

地球環境や生物多様性の保全、低炭素社会形成に対する市民一人ひとりの理解の高まりとともに、地球環境や生物多様性に配慮したみどりの保全と創出を進めるために、市民・活動団体・企業・関係機関との協働のもと、環境教育の取り組みやみどりの保全と創出を進めます。

⑨-1 地球環境や生物多様性の保全に向けた意識の醸成

【効果的な情報発信】

○多くの市民が地球環境や生物多様性の保全へより関心を高めていくように積極的かつ効果的な情報発信を進めます。

【環境教育のための場・機会の充実と人材の活用】

○学校・関係機関・関連部局・活動団体との協働による、森林などのみどりを活用した環境教育の推進や体験学習の場や機会の充実を積極的に図るとともに、森林ボランティアや環境保全アドバイザーなどの人材の活用を進めます。

⑨-2 低炭素社会の実現に向けた取り組みの推進

【二酸化炭素吸収・固定源としての森林の保全と創出】

○地球温暖化の防止などみどりの保全と創出を通じた低炭素社会の実現に向け、二酸化炭素の吸収・固定源となる森林の保全や創出を進めます。

【協働の取り組みの推進】

○低炭素社会の実現に向けた市民や企業の意識を高めながら、カーボンオフセットのための植樹や育樹活動など、みどりを通じた環境負荷低減の取り組みを、市民・活動団体・企業などとの協働により推進します。



植樹活動

㊦-3 生物多様性に配慮したみどりの保全と創出

○生物多様性の保全を図っていくために、札幌やその周辺のみどりの現状や特性などを踏まえ、自然環境の保全や、森林、草地、水辺地などの保全や創出に努めるとともに、公園緑地や河川などを活用した生物の生息・生育地の連続性の確保に努めます。

また、外来種の扱いについては、外来生物法(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)に基づくとともに、専門機関などの意見をもとに適切に対応します。



琴似発寒川のサケの産卵

<計画進行管理の指標>

- * 植樹祭などの参加者数(開催数)(再掲)
- * 市民参加で植樹した本数(再掲)
- * 法律や条例などで守られているみどりの面積(再掲)
- * 二酸化炭素吸収量
- * みどりに関する講習会などの開催数(再掲)
- * みどりに関する講習会などに参加した市民の割合(再掲)
- * みどりに関する講習会などに参加し、今後も参加したいと思っている市民の割合(再掲)

